

平成22年度予算の概要

ほくよう児童館



新たな時代を切り開く

"克力"予算



平成22年 3月
北海道千歳市

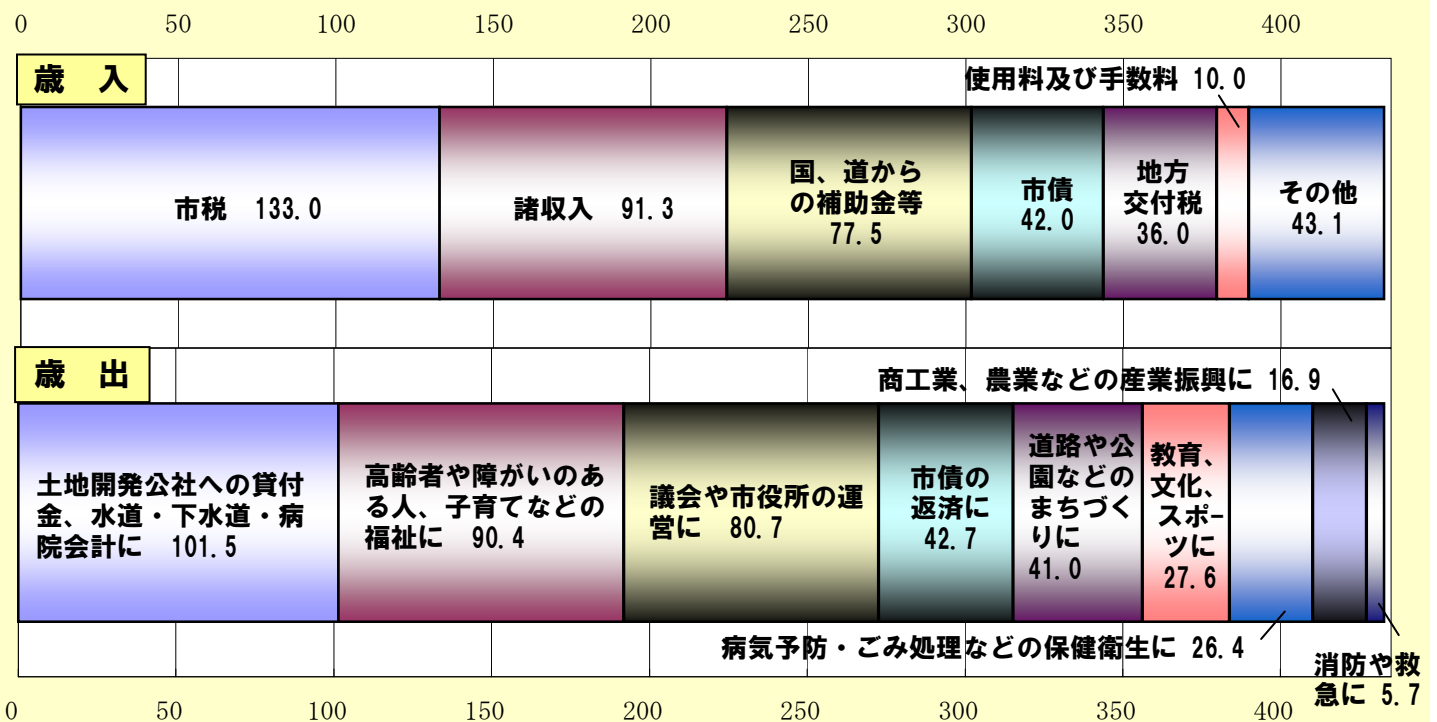
平成22年度各会計予算の状況

全会計 701億5千万円

一般会計
432億9千万円

税金などの収入で市民生活や教育、福祉などの基本的な事業を行う会計です。

(単位：億円)



特別会計
121億5千万円

料金や保険料などの収入で特定の事業を行う場合などに設ける会計です。

国民健康保険	82億2,014万円
土地取得事業	3,889万円
公設地方卸売市場事業	4,208万円
老人保健	233万円
霊園事業	6,280万円
介護保険	30億5,824万円
後期高齢者医療	7億2,317万円

公営企業会計
147億1千万円

民間企業と同じように、独立採算性を原則としている会計です。

水道事業	27億7,429万円
下水道事業	57億4,127万円
病院事業	61億9,858万円



千歳市の一般会計予算を目的別に 市民1人あたりの金額に置き換えると・・・？

1人あたり **37万8千円**

(平成22年度一般会計予算を、平成22年3月1日現在の人口93,445人で割ったもの。)

高齢者や障がいのある人、子育てなどの福祉のために
9万7千円



議会や市役所の運営のために
8万6千円



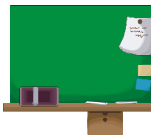
市債（借金）の返済のために
4万6千円



道路や公園などのまちづくりのために
4万4千円



教育、文化、スポーツの振興のために
2万9千円



病気予防・ごみ処理などの保健衛生のために
2万8千円



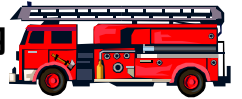
水道・下水道、病院会計に
2万4千円



商工業、農業などの産業振興のために
1万8千円



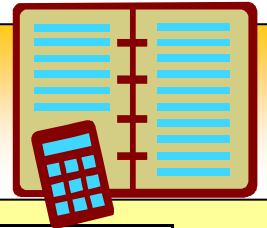
消防や救急のために
6千円



※土地開発公社への貸付金は除いています。

※千歳市の借金残高（約364億円）を市民1人あたりに換算すると38万9千円になります。

市民1人あたりの金額を性質別に、 家計簿に置き換えると・・・？



千歳市の家計簿

支 出		収 入	
食費 (人件費)	6万9千円	給料 (市税)	14万2千円
光熱水費・電話代 (物件費)	5万1千円	諸手当 (国・道支出金)	8万2千円
医療費 (扶助費)	6万4千円	家族からの仕送り (地方交付税、交付金、譲与税)	7万円
仕送り・小遣い (補助費等、投資・出資、繰出金、貸付金)	7万7千円	同居家族からの収入 (使用料及び手数料、分担金及び負担金)	1万4千円
貯金の積み立て (積立金)	2千円	財産の運用による収入 (財産収入)	3千円
家の改修、家電の購入 (維持補修費、投資的経費)	6万9千円	貯金の活用 (繰入金、繰越金)	9千円
ローンの返済(元利) (公債費)	4万6千円	親類からの返済金など (諸収入)	1万3千円
	<hr/>	新たなローン借入 (市債)	4万5千円
	37万8千円		<hr/>
			37万8千円
このほか親類への貸付金 (土地開発公社貸付金)	8万5千円	このほか親類から返済元金 (土地開発公社貸付金)	8万5千円

平成22年度

1. 心がかよい幸せ感じる都市づくり

<p>小規模福祉施設スプリンクラー等整備事業費 2,241万9千円（新規）</p> <p>認知症高齢者グループホームなどの小規模社会福祉施設に消防用スプリンクラーを設置する費用を助成します。</p> <p>平成22年度設置予定：4施設</p> 	<p>女性特有のがん検診推進事業費 1,508万8千円（新規）</p> <p>一定の年齢に達した女性に子宮頸がんと乳がんの検診無料クーポンと検診手帳を交付します。</p> <p>無料クーポン対象年齢</p> <p>子宮頸がん：20歳、25歳、30歳、35歳、40歳 乳がん：40歳、45歳、50歳、55歳、60歳</p>
<p>コミュニティセンター施設整備事業費 1億3,828万3千円</p> <p>コミュニティセンターの耐震化、バリアフリー化等のリニューアルを計画的に進めています。</p> <p>平成22年度は、北新コミュニティセンター、北信濃コミュニティセンターの整備を行います。</p>	<p>町内会等備品整備事業費 5,480万円</p> <p>町内会の備品整備に充てるための補助金を平成22年度は68町内会に交付します。</p> 
<p>子ども手当給付事業費 11億6,163万4千円（新規）</p> <p>次世代の社会を担う子ども1人ひとりの育ちを社会全体で応援する観点から、所得に関係なく、中学校修了までの子どもについて1人当たり月額13,000円を支給します。</p>	<p>民間保育所増改築支援事業費（新規） 3,609万6千円</p> <p>待機児童の受入枠を確保するため、民間保育所が行う受入定員の拡大を目的とした増改築に対して補助金を交付します。</p> 
<p>（他の主な実施事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療体制整備事業費 ・第2期地域福祉計画推進事業費 ・町内会館整備事業費 ・休日保育事業費 ・病児病後児保育事業費 ・障害児保育事業費 ・私立認可外保育所補助事業費 ・母子家庭自立支援給付金事業費 ・生活保護適正実施推進事業費 ・（仮称）花園地区コミュニティセンター整備事業費 ・妊婦乳幼児委託健康診査事業費 など 	<p>放課後子ども教室推進事業費 190万7千円</p> <p>児童の放課後の活動拠点として、昨年に引き続き、北栄小学校において放課後こども教室を週1回実施します。</p> 

の 主 な 実 施 事 業

2. 安全で人と地球にやさしい都市づくり

<p>破砕処理施設整備事業費 11億8,420万円</p>	<p>エコチャレンジ補助事業費 354万円</p>
<p>新破砕処理施設を整備し、プラスチック製容器包装の選別・回収による資源化などを行えるようにします。 (稼動開始予定：平成23年度)</p> 	<p>温室効果ガスの排出量を削減するため、太陽光発電システム等の新エネ・省エネ機器を設置する個人住宅向けの補助制度を創設します。 補助対象 太陽光発電システム ガスエンジン給湯器 など</p>
<p>基地周辺共同受信区域アンテナ設置助成事業費 1,933万1千円</p>	<p>AED整備事業費 341万3千円</p>
<p>地上デジタル放送の開始に伴い、基地周辺共同受信区域の区域外となる住宅のアンテナ設置費の2分の1を助成します。 助成上限額：17,500円</p>	<p>平成18年度から計画的に公共施設への設置を進めているAED（自動体外式除細動器）を平成22年度は、各児童館、消防出張所など13か所に設置します。</p>
<p>自衛隊体制維持要望活動事業費 377万8千円</p>	<p>高機能消防指令センター更新事業費 3億7,014万9千円</p>
<p>東京での中央総決起大会、要望活動などを通じて、自衛隊の体制維持を求める活動に取り組みます。</p> 	<p>消防緊急通信指令施設を更新し、災害時の迅速確実な対応、通報場所の特定、災害地点への到着の迅速化を図ります。</p> 


(他の主な実施事業)

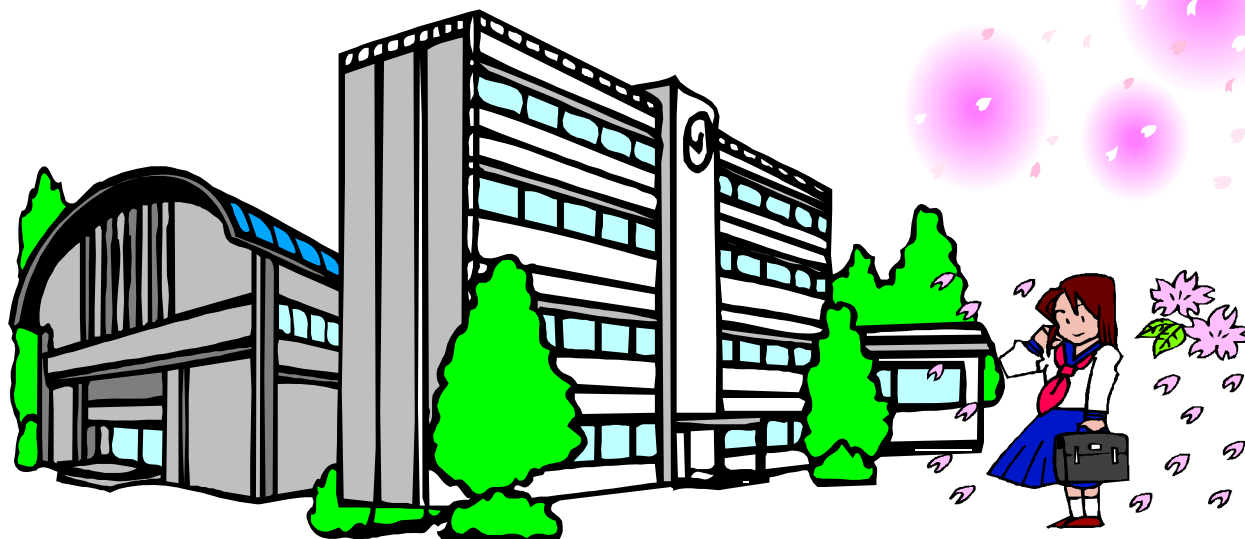
- ・ 温室効果ガス排出削減推進事業費
- ・ ごみ減量・リサイクル化啓発事業費
- ・ 焼却処理施設煙突整備事業費
- ・ 第3埋立処分地植樹・飛散防止ネット設置事業費
- ・ 環境センター省エネルギー化推進事業費
- ・ 街路灯設置工事費交付事業費
- ・ C経路まちづくり事業費
- ・ 建築物耐震改修促進業務経費
- ・ 公営住宅建替事業費（みどり団地、いずみ団地）
- ・ 災害応急対策用品等整備事業費
- ・ 自主防災組織育成事業費
- ・ 耐震性貯水槽整備事業費
- ・ 消火栓更新事業費
- ・ 消防救急デジタル無線整備事業費
- ・ 広域消防運営計画策定事業費 など





(5つの都市づくり目標別)

3. 学びあい心ふれあう都市づくり

小中学校耐震化改修事業費 3億3,644万円	(仮称) 勇舞中学校建設事業費 3,410万円
学校施設の耐震補強設計、耐震補強工事を計画的に実施します。 平成22年度実施校 設計：北栄小 工事：末広小、千歳中 	生徒数の増加により大規模化が進む富丘中学校の分離校を勇舞地区に新設します。 平成22年度は実施設計などを行います。 建設予定地：勇舞3丁目 開校予定年度：平成24年度
特別支援教育体制推進事業費 2,351万2千円	市民文化センター手すり設置事業費 543万円(新規)
障がいのある児童・生徒の社会参加の促進、教育環境の充実などを図るため、小中学校に配置している特別支援教育支援員を14人から24人に増員します。	高齢者や障がいのある人が安心して施設を利用できるよう大ホールと中ホールに手すりを設置します。
埋蔵文化財公開活用事業費 201万2千円(新規)	(他の主な実施事業)
旧長都小中学校に移転・開設する埋蔵文化財センターを活用し、小学生を対象とした石器づくりや火おこしなどの体験学習会や市民の方々を対象とした公開講座、展示会を開催します。	<ul style="list-style-type: none">・ 修学支援事業費・ スクールカウンセラー配置事業費・ 心の教室相談員配置事業費・ 小中学校防火戸改修事業費・ 小学校大規模改修事業費・ 社会教育委員配置事業費



4. 魅力と活力あふれる都市づくり

観光プロモーション事業費 144万1千円 支笏湖散策マップ、ちとせポケットブックを作成し、観光客数や滞在期間の拡大を図ります。 支笏湖散策マップ 40,000部 ちとせポケットブック 14,000部	循環型コミュニティバス運行事業費 2,637万2千円 ビーバスの運行ルートを図書館まで延長します。 
支笏湖温泉開発事業費 130万円(新規)  支笏湖温泉の新たな泉源の開発・掘削に向けて基本計画を策定し、関係機関との協議を進めます。	公園施設更新・バリアフリー化事業費 6,000万円 地域の方々とのワークショップ（意見交換会）を開催し、遊具の更新、バリアフリー化など公園全体の再整備を行います。 平成22年度：春日公園、末広中公園、真町公園

(他の主な実施事業)

- ・新千歳空港整備事業費
- ・市道整備事業費
- ・企業活動促進事業費
- ・南2号道路（鉄北通）整備事業費
- ・企業誘致プロモーション事業費
- ・東8線道路整備事業費
- ・商業等活性化事業費
- ・除雪車両等購入事業費
- ・観光基本計画策定業務経費
- ・グリーンベルト活性化事業費
- ・道の駅案内表示板設置事業費
- ・電線類地中化事業費
- ・グリーン・ツーリズム促進事業費
- ・ひばりヶ丘通整備事業費
- ・地域公共交通利用促進事業費
- ・北新通整備事業費
- など

5. 参加と連携による都市づくり

長期総合計画策定業務経費 1,289万7千円 将来のまちづくりを進める際の基本となる（仮称）第6期総合計画を策定します。 計画期間：平成23年度～平成32年度 策定期間：平成20年度～平成22年度	戸籍電算化事業費 1,984万1千円(新規) 紙媒体として保管している戸籍データの電子化を図ります。電子化により、届出を受理してから証明書（従来の謄抄本）を発行できるまでの期間や窓口での待ち時間が短縮されます。
--	---

(他の主な実施事業)

- ・市民協働推進事業費
- ・千歳市民憲章制定30周年記念市民憲章板整備事業費
- ・参議院議員通常選挙執行経費
- など

千歳市の財政状況（平成20年度決算）

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」により、地方公共団体では、財政破綻の危険性を予防できるよう、様々な指標を用いて財政状況の健全度を判断します。

千歳市の財政状況の健全度を、平成20年度決算で診断してみました。

診断結果

項目	数値の意味	数値	健全度の目安	道内順位	道内平均
実質赤字比率	公営企業（水道、下水道、病院、市場）を除いた、市の赤字の大きさを表します。	なし	12.53% 未満		
連結実質赤字比率	公営企業を含めた全ての会計を合算した、市の赤字の大きさを表します。	なし	17.53% 未満		
実質公債費比率	現在、市がどれだけ借入金の返済に追われているかを表します。	11.4%	25.0% 未満	20位/180	13.5%
将来負担比率	市に今後の借金を返済し続ける体力があるかどうかを表します。	110.8%	350.0% 未満	101位/180	132.4%

～所見～

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、各会計とも黒字のため算定されません。財政破綻の危険性はありませんが、これからも内部経費の削減や借入金の着実な返済などに引き続き努めてください。

これからも、より効果的・効率的な財政運営に努めてまいります。

市民みなさまのご協力をお願いします。

千歳市の財政に関するお問い合わせは・・・



千歳市総務部財政課 0123-24-0541 (直通)

ホームページ <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/index.cfm/84,0,131.html>